



# でらボラ NAGOYA 通信

2019年 6月号

陸前高田市にある本稱寺から参りました佐々木 証道と申します。  
でらボラの皆様方には震災から八年経った今でも様々なご支援をいただいております。まずはお礼を申させていただきます。ありがとうございます。  
八年前の三月十一日、当時私は中学生で卒業式の練習の真っ最中でした。震災が起こった当初は、地震で家が崩れることもなく、津波が起こったとしても家には届かないだろうと考え、生徒全員でグラウンドに避難しながらもどこか安心した気持ちでいました。

しかし、忘れもしない二時四十六分、十五メートル以上の巨大な津波が、私の故郷である陸前高田の街を瞬く間に飲み込んでいきました。私の中学校は小高い山の上に建てられていたため、波に飲まれてゆく街を呆然と眺めることしかできませんでした。あの時ほど人間の無力というものを痛感したことは後にも先にもありません。逃げている人々に「逃げろ」と叫んでいる生徒もいました。あまりのショックで完治したはずの持病を再発した生徒がいました。家が飲み込まれ、家族が目の前で津波に飲み込まれ、ショックのあまり呆然と立ち尽くしている生徒がいました。津波が街を飲み込んでいく中で、津波に飲み込まれずに助かった人々も身体的な傷はありませんが、大きな心の傷を負いました。私自身も、中学校に避難してきた人のために色々と動いてはいましたが家まで津波が到達していないか、家族は無事なのかと色々な不安があり、一晩中眠れない夜を明かしました。街中の電気が消え、憎いほどに綺麗な星空だったことを八年経った今でも鮮明に覚えています。翌朝に、母方の祖父母が迎えに来てくれ、安心して気を張って泣かないようにしていたのに泣いてしまいました。迎えに来てくれた祖父母から、父が津波には流されたがなんとか助かったこと、姉が高校にいて助かったことを聞いて安心したと同時に父方の祖父母、母が行方不明だと聞き、避難所である場所を何日も何日も周り母と祖父母を探しました。そして流された家の二階を整理しているときに祖母をあまり気が進まない中で訪れた死体安置所で母を見つけ、しばらくして火葬されたあとの祖父を見つけました。

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん(毎月12日)」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋

5月の活動支援金は **32,692** 円でした。たくさんのご協力をありがとうございました。



その当時からもう八年が経ち、私はとっくに成人して四年制の大学を卒業し  
実家の本稱寺を継ぐために必要となる教師資格を取りに、同朋大学の別科で  
勉学に励んでいます。震災が起きた当初、お寺を続けられるのかと不安になった時  
期もありました。父の安否が不明の時は、他のお寺で修行させてもらおうと  
子供ながらに考えていた記憶もあります。ですが、支援してくださった皆様、  
震災があっても変わらずに接してくださったご門徒さんのおかげで、本堂を再建す  
ることができ、私自身も支援してくださっている全国の皆様や、ご門徒さんの皆様  
に少しでも恩返しができればいいと考え、お寺を継いで頑張っていこうと思ってい  
ます。

名古屋を含め、東海地方では近々南海トラフ自身という大きな地震が起こると言  
われています。もう二度と東日本大震災で津波が来ないと油断し、その結果大きな  
ものを失った私たちのような人々を増やしたくありません。地震が起こった際は、  
ここまでは津波が来ないだろうと油断せずに、高台にある避難所に避難してくださ  
い。避難する際は、車を使おうとせずできるだけ徒歩で避難してください。  
震災を経験した中で、災害時、大事だと思うところを書かせていただきました。  
どうか、災害で大切な人を失ってしまうという人がいないようにと願い、終わりと  
させていただきます。長文でしたが読んでいただきありがとうございました。

### でらボラ NAGOYA 会員 募集中！

【入会資格】 不要です

【会費】 不要です（募金活動にご協力お願いします）

【申込方法】 来月 12 日の「一如さん」の募金スタッフにお声かけく  
ださい

【問い合わせ】 mail : derabora758@gmail.com